

 評価のポイント**CL-1.看護実践能力：ニーズをとらえる力**
【15-1】リハビリテーションにおける看護の基本

術前の膝の屈曲角度が120°であった患者さんが、術後の膝の屈曲角度が60°になってしまったら、どんな原因が考えられますか？

また、その理由に対し、どのようなリハビリテーション看護プランが考えられるでしょうか？

- ・術後に機能低下がみられる場合、どのような原因が考えられるか。リハビリテーション看護を開始する適切な時期についても検討してみる。
- ・膝が曲がらない（膝関節60度屈曲）という機能障害がある場合、どのような能力障害が生じるのかいくつか挙げ、その動作障害から考えられるADL障害をICIDHの概念を利用して、話し合ってみる。
- ・リハビリテーション看護を実践するうえで、医師・リハビリテーションスタッフなどと、どのような情報交換が必要かについて考えてみる。

以上のような視点で、予測されるADL障害について話し合い、安全なリハビリテーション看護が立案できるよう、まとめる。その上で、実際に介入する方法をいくつか挙げてみる。